

## ～ほけんだより7月号 学校医コラム～

第1回目は、学校歯科医の二瓶 亜津子先生です。

### 痛くなったり困ったりしてから歯医者に行っていないませんか？

「え？歯医者って、虫歯になったり痛くなったから行くんでしょ？」と思いませんか？

想像してみてください。

痛くなって歯医者に行って、むし歯のところを削って詰めてもらう。。。。

はい。詰めてもらった。痛くなくなった。歯医者さん、さようなら。

また痛くなって歯医者に行って、もっと大きくなったむし歯を削って、かぶせてもらう。。。。

はい。かぶせてもらった。痛くなくなった。歯医者さん、さようなら。

また痛くなって歯医者に行って、腐っているところを削ったら、むし歯が大きすぎて、根っこの治療をしなければならなくなった。。。。

何回か通って、深いところのむし歯のお掃除をようやく終えて、またかぶせてもらった。。。。

はい。根っこの治療した。かぶせてもらった。痛くなくなった。歯医者さん、さようなら。

今度は痛くはなかったが、歯が根元で折れてしまった。

痛いと教えてくれる神経がなくなってしまったので、いつの間にか、かぶせた中の歯が腐ってしまっていたらしい。。。。

腐ったところを取ってもらったら、歯が小さくなりすぎて、もう歯にならない。。。。

役に立たなくなった小さな歯を残したままだと、はれたり痛くなる原因になるので、抜くしかなくなった。抜いてもらった。。。。

はい。折れちゃった歯を抜いてもらってすっきりしたから、もう大丈夫。

歯医者さん、さようなら。

また痛くなったら来るからね。

また、歯が折れたら来るからね。

これでいいのでしょうか。

悪くなるたびに歯医者にかかっていたのでは、治療をするたびに、歯の状態は前よりも悪くなり、最後には歯がなくなります。こんな歯医者のかかり方でよいのでしょうか。

学校歯科医 二瓶亜津子

